

## 開催行事

### 主催者あいさつ

第56回関東甲信越静社会教育研究大会  
神奈川大会実行委員長 小池 茂子



皆様ようこそ神奈川県へ。そして、ようこそ横浜の地においでくださいました。私は、ただいま御紹介にあずかりました、本大会実行委員長の小池でございます。

この度、御来賓の皆様にご臨席を賜り、ここに第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会を開催できますことを大変光栄に思いますとともに、神奈川県をはじめ、神奈川県社会教育委員連絡協議会関係者一同、皆様を心より歓迎申し上げます。

この度の研究大会は「社会教育で創る育む つなげる 共生の未来へ」という大会スローガンを掲げ、この横浜市中区を中心として2日間にわたる研究大会を行います。

今日、横浜は世界に開かれた国際貿易都市として広く知られていますが、江戸時代には、ここ関内のあたりから現在の横浜駅周辺、山下公園のあたりの山下町一帯は、わずか90世帯くらいの半農半漁の小さな村であったと言われていました。それが、ペリーの来航を機に安政6年に横浜港が開港されると、この漁村は瞬く間に文明開化を象徴する地となりました。そして現在も横浜には、日本の伝統文化とともに世界規模の多様な文化・文明が混ざり合う独特な文化が存在しています。開港から166年を経た今、高度情報化、グ

ローバル化、少子高齢化の急速な進展、地方と都市の格差、また私たちの住まう地域社会においても、人と人の交わりの希薄化や地域活動の衰退等の課題があります。だからこそ社会教育や、私たち社会教育委員には、地域の中で営まれる教育活動が持つ力に信頼を置いて、学びを通じた人間の幸せや住民同士が心温かく交わる社会を形成していく、21世紀型の新たな教育活動を作り上げていく使命を託されているのだと思っています。そのような意味で、この会場にお集まりの社会教育委員の皆様をはじめとする社会教育に連なる関係者の皆様に、心からの尊敬を表したいと思います。

今回の研究大会では、一人ひとりの所与の条件のもとで、誰もが学び続けることができる社会の実現、あるいは、異なる世代の中でつなげていく持続可能な社会の実現など、大きな理想を掲げて未来の姿を心に描きながら、社会教育と私たち社会教育委員に「何ができるのか」ということを考える2日間にしたいと願っています。

本日のプログラムの最後に、会場全体で歌を歌おうと神奈川大会の実行委員は決めました。そこで歌われる「ゆず」の「栄光の架橋」の歌詞には、実行委員たちが本大会や、また日々の教育活動に込めた願いや思いが重なっています。どうか皆様で歌うときにそのことを思い返していただければ幸いです。

この神奈川大会では、本日この会場で行われるプログラムの他にも、横浜中華街での情報交換会、明日は5つの会場に

分かれた研究発表がございます。この関内ホールから歩いて15分ほどのところには、太平洋へと通じる横浜港が皆様の目の前に広がります。昼間はしっかりとこの研究大会で学び、他の時間は、横浜港の潮風に吹かれ、あるいは、晩秋から初冬へ移っていく横浜や神奈川県を自然や文化を訪ねていただき、心の赴くままに豊かで楽しい時間をお過ごしになっていただきたいと思ひます。でも、明日の研究大会にはちゃんと来てくださいな。

この研究大会を通じて学び、出会った者同士が語り合い、情報を交換し、あるいは楽しい時を共有することで、新たな着想やエネルギーを得て、私たちの次なる社会教育の活動につなげていく。神奈川大会がそのようなきっかけを創り出す研究大会となることを願いつつ、開催に寄せる御挨拶とさせていただきます。

---

一般社団法人 全国社会教育委員連合  
会長 鈴木 眞理

---



全国社会教育委員連合の会長を仰せつかっております、鈴木眞理です。11年前の大会時には、神奈川県をやらせていただいております、早いものです。様々な方々からいろいろな御協力をいただき、今日の会が成り立っているということを感じたいと思ひます。

御来賓の皆様ありがとうございます。御来賓に挨拶をするというのが一番初め、スタッフの方々にも感謝します。今日も関内駅を降りたら、プラカードを持って

案内して下さっている方々がいらっしゃいました。事前に様々な企画を練る、準備をするようなことをしていた方々もいらっしゃいます。主に県下の社会教育委員の方だろうと思ひます。その人たちにも、お礼を申し上げなければいけません。ありがとうございます。さらに、会場の皆様方も来ていただきありがとうございます。700人から800人の参加というような話を聞いております。その方々が関東近県から来ていただいているということのようです。

いろいろなことを考えながら、社会教育委員として地域の社会教育の活性化、あるいは地域の人々の学習活動の活性化、それに尽くすということができのうというふうに思ひます。ありきたりなことではなくて、その時、その地域でなければできないようなことを、御参加の皆さんが、ぜひ仲間と一緒に考えながらやっただけのといひのうというふうに思ひます。それが、社会教育の基本的なあり方でしょう。国の事業で補助金が出るものもあります。それをそのままやればいいのではなくて、自分たちの中で考えることが大切だ、洗練されていなくたっていいのだというふうに関き直つて考えていく、それが社会教育の真髄だといひのうに思ひませんか。

社会教育委員としてどのような活動を、どのようにしていくことが重要なのか、また周囲の仲間と一緒に考えてみてください。今日のこれからの時間、あるいは明日の分科会、そこでいろいろなことを考えて、地域へ戻つて、様々な活動をなされることを期待いたします。2日間、充実した時間をお過ごしください。

## 来賓祝辞

神奈川県副知事 平田 良徳 様



皆様こんにちは。ただいま御紹介いただきました神奈川県副知事の平田でございます。本来であれば知事の黒岩が参りまして御挨拶申し上げますべきところでございますが、所用のためこちらに伺うことができませんでした。知事から皆様にくれぐれもよろしくと申し付かって参りました。

本日は、第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会がこのように盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。関東甲信越静各地区からお越しの皆様を、920万県民を代表して心から歓迎いたします。

また、本日御参加の皆様には、日頃から各地域において社会教育の推進並びに地域社会の発展に多大なる御尽力をいただいていることに深く敬意を表する次第でございます。

近年私たちを取り巻く社会情勢や生活環境は大きく変化しています。人生100歳時代の今、誰もが将来に希望を抱くことのできる地域社会の実現が求められています。また、価値観の多様化する現代社会において、障がい、国籍、性別などの違いを互いに認め、尊重し合える社会づくりも重要となっています。

神奈川県では、県政運営の総合的・基本的指針となる「新かながわグランドデザイン」を策定し、文化・スポーツ活動の推進や共生社会の実現に向けた取組など、様々な施策を展開しています。心身とも

に健康で豊かな生活ができる活力ある地域社会づくり、そして、偏見や差別のない、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現するためには、生涯を通じての学びや持続可能な社会の構築につなぐ社会教育の果たす役割が、今後ますます重要になって参ります。

こうした中、「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」をメインテーマとして、関東甲信越静の社会教育に関わる皆様が一堂に会し、シンポジウムや事例発表など行われますことは大変有意義であり、私としても大変心強く感じているところでございます。

この神奈川は、異国文化感じられる横浜、自然に恵まれた箱根、歴史文化溢れる鎌倉をはじめ、魅力的な観光地が数多くございます。ぜひこの機会に神奈川の魅力にも触れていただき、大会の思い出の一つに加えていただければと思います。

神奈川では今、紅葉前線が箱根や丹沢の山々から徐々に里へ降りてきております。鎌倉や横浜でも木々が少しずつ色づき始め、とても良い季節となりました。この時期ならではの神奈川の魅力を、ぜひ感じ取っていただければ幸いです。

また神奈川におきましては、この横浜市で令和9年3月に、「2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）」が開催されます。この博覧会は首都圏の1都3県で初めて開催される万博であり、国内外から1,000万人以上の来場者が見込まれます。神奈川県としても開幕に向けてしっかりと横浜市とともに準備を進めて参ります。皆様もぜひお越しいただければと思います。そして県内各地にも足を伸ばしてい

ただいて神奈川の多彩な魅力に触れていただければと思います。

結びに本大会の開催に御尽力いただきました関係の皆様へ深く敬意を表しますとともに、本大会の御成功と皆様の御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの御挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

## 歓迎の言葉

横浜市教育委員会事務局生涯学習担当部長  
小野寺 紀子 様



皆様こんにちは。ただいま御紹介に預かりました横浜市教育委員会事務局生涯学習担当部長の小野寺と申します。本来であれば副市長の伊

地知から御挨拶を申し上げるところですが、所用につき欠席のため、私が代読させていただきます。

本日は関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会がこのように盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。第56回となる本大会が横浜の地で開催され、関東甲信越静1都10県から様々な分野で御活躍されている皆様へ御参加いただきますこと、大変うれしく思います。

先ほど副知事の御挨拶にもありましたように、2027年春にこの横浜で「GREEN×EXPO 2027」が開催されます。先般、大阪で開催された万博が大いに盛り上がりましたが、次は横浜の番となります。

この「GREEN×EXPO 2027」では、圧倒的な花と緑でお客様をお迎えするとともに、

「幸せを創る明日の風景」というテーマのもと、自然・人・社会がともに持続するための最適解を発信し、持続可能な地域・経済の創造や社会的な課題解決に貢献する新たな博覧会を目指して参ります。本日御参加の皆様にもぜひ訪れていただければと思います。またこの2日間においても歴史ある横浜の町を散策いただき、お楽しみいただければと思っております。

さて、本大会の研究主題でございます「すべてのひとが学び続けられる社会が、をつくるために社会教育ができること」と伺っております。本市でも市民の社会参加のすそ野を拡大し、一人ひとりが生涯にわたって学び続けられるような様々な取組を進めているところでございます。先ほどお話しましたように「GREEN×EXPO 2027」が目指す持続可能な社会の実現というのも学び続ける市民の皆様の存在があつてのことだと思っております。

現在社会課題の複雑化に伴い社会教育の果たす役割は一層大きくなっております。本大会を通じ、皆様方が他都市の先進的な取組や実践事例を学び、交流することにより社会教育のさらなる発展に繋がることを祈念しております。

最後に本大会の開催に向けて、御尽力をされました皆様へ心より感謝を申し上げますとともに、本日御参加の皆様方へますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして簡単ではございますが歓迎の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。